原水禁世界大会リポート

原水爆禁止2016年世界大会in広島（4～6日）に参加した中西幹夫、中村新太郎両理事に感想を寄せてもらった。

戦争を省みない姿勢

中西幹夫（東大阪市）

海上自衛隊呉基地の調査ツアーに参加した。

呉市では、ジャパンマリンユナイテッド（JMU）の造船所に立ち寄った。ここには戦艦大和を建造したドックがそのまま残されている。ドックからは国策のあやまちを認めず、第二次世界大戦での日本軍を美化し、讃える姿勢を感じた。灰ヶ峰通信施設からは岩国基地、呉基地が一望できた。呉軍港には10隻以上の潜水艦、日米大型艦船が停泊しており、異様な存在感があった。そこには軍事を推進するわが国の姿があった。

安倍政権は今、改憲に踏み切ろうとしている。9条の改悪がなされ、戦争になれば日米軍は呉、岩国から出動するのであろう。このむなしい想像が現実にならないことを願う。

運動の経験を報告する参加者＝6日、広島市

署名の重みを感じて

中村新太郎（富田林市）

核兵器のない世界への扉を開こうとする新たな動きが生まれている。核兵器を禁止し、廃絶する条約についての実質的な議論が、国連で始まったのだ。第70回国連総会は、核兵器のない世界を実現するための具体的で効果的な法的措置を論議する作業部会の設置を決定した。こうした発展を生み出した根本的な力は、核兵器の非人道性、残虐性を訴えつづけてきた被爆者を先頭とする世界の反核平和の運動である。世界の反核平和運動が結集した2015年の核不拡散条約再検討会議を契機に、核兵器を禁止する法的拘束力のある措置を求める流れがいっそう大きく広がってきた。その実現に向け、いまこそ圧倒的な世論をつくりださなければならない。

会員の思いがこもった核兵器廃絶署名を、ニューヨークに届けることが去年できた。この署名の重みを感じる広島原水爆禁止2016年世界大会になった。

女性医師・歯科医師の会
余技展、文楽鑑賞会開く

女性医師・歯科医師の会は恒例の「余技展」、「文楽を楽しむ会」を開いた。

23回目を迎える「余技展」は薬業会館で開催（7月20～23日）。14人が絵画や陶芸など21作品を出展した。

7月31日に開かれた「文楽を楽しむ会」には25人が参加し、国立文楽劇場で「五条橋」「新編西遊記」を観劇した。舞台終了後には桐竹勘十郎氏による舞台裏見学を行った。

上：「文楽」舞台裏見学の様子＝7月31日、国立文楽劇場
下：余技展の様子＝7月、薬業会館

手話教室 全3回終了

実技指導を受ける参加者＝7月23日、保険医会館

医院ですぐに使える「歯科手話教室・基礎編」3回シリーズの最終回が7月23日、保険医会館で開かれ、8人が参加した。

講師の東尾健氏（歯科技工士）は、「言葉にこだわると手話は行き詰まる」と助言しながら、これまでのおさらいから始め、受付や診療室、治療内容を中心に、いろんなシーンに対応した手話を教えた。

国立国際美術館

始皇帝と大兵馬俑

地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅から徒歩10分。国立国際美術館で特別展「始皇帝と大兵馬俑」が2016年7月5日(火)から10月2日(日)の日程で、開催されている。

▲ 1号兵馬俑坑（中国・陝西省）＝秦始皇帝陵博物院蔵©陝西省文物局・陝西省文物交流中心・秦始皇帝陵博物院

▶兵馬俑（右から）跪射俑／軍吏俑／将軍俑／歩兵俑／立射俑＝秦始皇帝陵博物院蔵©陝西省文物局・陝西省文物交流中心・秦始皇帝陵博物院

紀元前221年、史上初めて中国に統一王朝を立てた秦の始皇帝。その陵墓を守護する永遠の軍隊、兵馬俑。1974年、中国陝西省（せんせいしょう）で井戸を掘っていた農民が偶然見つけたという話はあまりにも有名だ。当時の中国では、死後の霊魂の生活のために俑（人形）とともに埋葬されていた。それ以前は、皇帝が亡くなるとその配下は殉死させられ、一緒に埋められていたというから恐ろしい。

始皇帝の陵墓には、ほぼ等身大の俑が武器や馬具を身につけ、副葬されている。その数、なんと8千体。陶で作られた軍団が死してなお、始皇帝を守り続けている。

この特別展には、中国陝西省にある俑を運び展示してある。中国の歴史の深淵をここ大阪でのぞき見ることができることは感慨深い。

展示は三部構成となっている。第一章「秦王朝の軌跡―周辺の小国から巨大帝国へ」では、秦初期の歴史を伝える鐘や王剣、金剣鞘や天下を統一する以前の秦が作った太鼓型の石や玉胸飾りという赤いメノウに緑の玉の首飾りが目を引く。第二章「始皇帝の実像―発掘された帝都と稷園」では、両詔権という重さを量る錘や取水口、L字型水道管、水道管といった水道設備も作った当時の技術の高さが伺える。第三章「始皇帝が夢見た永遠の世界―兵馬俑と銅馬車」では、上から「兵馬俑坑」を見下ろす臨場感のある展望エリアがある。百戦錬磨の武将の「将軍俑」、専用の装備をした「騎兵俑」、引き締まった馬体の「軍馬」、見事な手綱捌きの「御者俑」、正座する馬飼いの「馬丁俑」、弓の準備・完了の「立射俑」、鋭い眼光の射手「跪射俑」、経装備の戦士「歩兵俑」、重装備の「軍吏俑」、謎の巨漢「雑技俑」と10体が展示され、4頭立ての青銅で彩色された銅馬で始皇帝の馬車をかたどったものもある。

入場時に音声ガイドをかりるとタレントの壇蜜さんが魅力的な声で案内してくれる。館内は程よく涼しくなっているので、晩夏のお出かけにいかがだろうか。

（新聞部・辻本勝）

おおさか ウォッチング 286

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

社保講習会

第1回 9月3日（土）午後6時～8時
内容 初・再診料、医学管理、在宅
第2回 9月10日（土）午後6時～8時
内容 検査・画像診断・投薬・麻酔、処置、手術
第3回 9月17日（土）午後6時～8時
内容 歯周疾患、歯冠修復・ブリッジ、有床義歯
会場 M&Dホール **定員** 100人
講師 社保研究部講師団 **会費** 会員無料
※『歯科保険診療の研究（2016年4月版）』をテキストとします。ご持参ください

9月度生涯研修
混合歯列期における早期矯正治療の適応条件と実際

日時 9月11日（日）午前10時～午後1時
会場 M&Dホール **定員** 100人
講師 小森成氏（日本歯科大学附属病院矯正歯科教授）
会費 会員3千円、未入会者1万円

北大阪地区
神戸キリンビール工場見学

日時 9月11日（日）午後0時30分～2時
集合 JR「三田」駅改札前に午前11時15分
会場 ビール工場から三田プレミアムアウトレット
会費 無料
定員 20人（当協会会員、会員院所家族・従業員に限る）※要事前申込み

南河内地区
カタシモワイナリー畑・工場・町歩き見学（ランチ付）

日時 9月11日（日）午前10時～午後2時
集合 近鉄大阪線「安堂」駅改札前に午前9時50分
会場 カタシモワイナリー（柏原市太平寺）
会費 6千円（南河内地区会員3千円）
定員 20人（当協会会員、会員院所家族・従業員に限る）※要事前申込み

雇用管理対策講習会③
雇用トラブル事例から学ぶ納得の対処法―基本知識から応用まで

日時 9月24日（土）午後6時～8時
会場 保険医会館5階 **定員** 20人
講師 堀口正二氏（協会税理士社労士団・社労士）
会費 会員・家族3千円、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。